



志高く！

教育目標

「志高く 遅しく 切り拓く」

生徒会スローガン

「麻生中ABCD+」

「考・動・皆・志」

◆麻生中学校だより◆

Tel 80-8070

Fax 77-0840

<http://www.sopia.or.jp/n-asojh/>

行方市南327の3

令和2年12月7日発行

令和2年度 第21号

◆行方市学力向上授業研究会◆



公開授業の様子：小林先生の国語・渡辺先生の社会・田所先生の数学

前号にてお知らせしたとおり11月27日（金）「行方市学力向上授業研究会」を開催しました。

参加者は、市内中学校の全職員及び小学校の代表職員、行方市教育委員会

教科別研究協議



職員です。授業を公開したのは、上写真の小林先生、渡辺先生、田所先生です。小林先生は、2年2組で、「走れメロス」における、「走れ」には、誰のどのような思いが込められているのか、根拠をもとに自分の考えをまとめるという国語科の授業を行いました。

渡辺先生は、1年2組で、地球的課題である国家統合について多面的・多角的に考察したことを基に、自分の判断を複数の立場から説明するという社会科の授業を行いました。

田所先生は、3年3組で、直角三角形の3つの辺の関係から、三平方の定理について理解するという数学科の授業を行いました。

授業後は、それぞれの教科毎に研究協議会を行いました。子供たちの学習する姿から、教師の授業レベルを上げるためには、今後どのような点を改善していけばよいのかについて、熱心な話し合いが行われました。

最後は、多目的ホールにて、シンポジウムを行い、その後、講師指導がありました。講師の澤井陽介先生からは、具体的で分かりやすいご指導を頂戴しました。また、校長室にて話をしている時、「全国の中学生の授業をたくさん見ているが、こんなに子供たちが主体的・対話的に学んでいる姿を見るのは珍しい。すばらしい。」とお褒めの言葉も頂き、大きな励みとなりました。

シンポジウム・講師指導



◆放送で養護教諭から生徒に伝えた話【新型コロナウイルス感染症対策】◆

新型コロナウイルス感染症から身を守るために、みなさんにしっかり守ってもらいたいことを話します。みなさんもお存じの通り、コロナウイルス感染症は拡大し続けており、県内での感染者も増えています。最近では、管内の中学生の感染が分かり、すぐそこに感染の危険が迫っています。しかし、私達の行動により、自分や大切な家族、友達の身体を守ることができます。みんなの命を守ることを最優先に考えてください。そこで守ってほしいことを4点話します。1点目は手洗いと消毒の徹底です。コロナウイルスは細菌ではなく、ウイルスです。ウイルスは手のひらのような皮膚では増殖できないので、粘膜に入り込もうとします。ウイルスが付着しやすい粘膜は、眼・鼻・口・喉です。皮膚に付着したウイルスが粘膜に付着する前に、水で洗い流す必要があるため、手洗いが大切なのです。しかし指先だけを洗うのではウイルスを含んだ水滴が手の平に飛び散り、かえってウイルスを広げてしまいます。ですから、石けんを使って手首から指先に向けて洗い流してください。2点目は換気です。コロナウイルスは、空気中を飛び交い、鼻や口に直接入り込む場合もあります。そのため、人が集まる場所では換気をすることが大切であり、空気のはいり口と出口を考えて、窓やドアを2ヶ所以上開けてください。家庭でもこまめに窓を開けて換気をするといでしょう。3点目はマスクの着用です。マスクは自分の鼻水や唾液が飛び散ることを防ぐことができるので、飛沫感染を最小限にとどめることにつながります。つまり、マスクの着用は、自分のためというより、周りの人の大切な命を守ることにつながるのです。新型コロナウイルスは感染しても症状が出ないこともあります。また、子どもは比較的症状が軽いとも言われていますが、病気を抱えている人や、お年寄りがかかったらどうでしょう・・・。「自分を守ることは、他人も守ること」という意識を持って、行動してください。4点目は感染を理由とした差別や偏見をしないことです。新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。すでに、感染した人達が心ない言葉をかけられたり、扱いをされたりしているという事例が起きています。こうしたことが皆さんの周りでも起きないように、皆さんにも協力してほしいと思います。目に見えないウイルスから命を守るために、今話したことを正しく理解し、このことを家族の方にも伝えてください。以上、保健室からのお願いでした。



